

令和8年度 学校教育目標・学校経営方針・指導の重点

京都市立桂川中学校

1. 学校教育目標

「主体的な発信力・行動力を身につけ、社会性のある生徒の育成」

あらゆる教育活動を通して、生徒の「**主体的な発信力・行動力**」を引き出し自己肯定感が得られる生徒を育てる。そして、「**自ら学ぶ力・自ら律する力**」を高めていくことを通して「**社会性**」を身につける。(テーマは主体性と社会性！)

【目指す生徒像】 「自分の軸を持ち、愛し愛される生徒」

- (1) 自分の思いや考えを分かりやすく、他者へ伝えることができる。
- (2) 自身の意志や考えに基づき、行動することができる。
- (3) 自分や他者を大切にできる。

【目指す教職員像】 「生徒から分かりやすく、信頼される教職員」

- (1) 「子どもの心」に寄り添い、支えることができる。
- (2) 生徒に考え、気づかせ、かまいすぎず伴走者ができる。
- (3) 「専門職」として授業を大切にし、探究し学び続ける。

【生徒会スローガン】
(キャッチフレーズ)

「飛躍と挑戦」

2. 学校経営方針

(1) 「教育は未来づくり」を理念として教育活動を行う。

意図的・計画的・継続的・組織的に働きかけることにより、生徒の望ましい変容を目指す。我々は教育を通して「日本の未来づくり」をしているという意識をもち、日々の教育活動にあたっていく。

(2) みんなで同じ目標に向かって、協力しながら教育活動を行う。

各教職員の教育観、主体性や創意工夫を大切にしながら、教科や学級・学年をつなぎ、そして教職員をつなぐものが「**学校教育目標や目指す子ども像・目指す教職員像**」である。教職員が協力し、やりがいをもって教育活動を展開することにより、強固な学校組織とより大きな教育効果が生まれる。

(3) 学校生活の中心は「授業」と「学級」である。

1時間1時間の授業を大切にし、充実した学習活動を通して生徒の成長を促す。また、そのベースとなるのが学級であり、授業や学級におけるルール作りは生徒の規範意識を育む。**授業規律と学級経営**(学活・昼食・清掃など)における日々の積み重ねは特に大切である。

3. 指導の重点

(1) 創意工夫を活かした特色ある教育活動の展開

- ①教職員の創意や意見を活かした教育活動の展開
- ②人権教育の視点にたった教育活動の展開
- ③**少人数教育やチームティーチングを通して、個の実態に応じたきめ細やかな学習指導の推進**
- ④生徒会活動を充実し、支部生徒会や「生徒会サミット」とのつながりの強化
- ⑤道徳教育の充実（計画的な実施と評価）
- ⑥**総合的な学習の時間の充実（3年間の生徒の成長を見通した取組）**
- ⑦「キャリアパスポート」等を活用した生き方探究教育の充実

(2) 学習指導の充実

- ①授業規律の徹底・教師の5分前行動
- ②タブレット・ICT機器・システム等を活用し、わかる・できる・楽しい授業に向けた授業改善
- ③「ミライシード」の効果的な活用（学習習慣・基礎学力・自主学習・授業と家庭学習のつながり）
- ④学習のめあて（本時の目標）の明確化と振り返り場面の設定
- ⑤**言語活動の充実と協働的な学習の手法を取り入れた伝え合う場面の設定**
- ⑥目標と指導と評価の一体化（3観点の改善点を明確化し授業改善に生かす）
- ⑦学校図書館の活用を通じた主体的・意欲的な学習活動や読書活動の充実
- ⑧**校内研修を活用し、教科会の充実を通して互いに学びあい自己研鑽を積む教職員集団づくり**

(3) 生徒指導の充実

- ①人権を尊重し、いじめや暴力を許さない学級集団づくり
- ②教職員と生徒、生徒相互の信頼関係の確立
- ③**「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」**
- ④個々の状況・課題に応じた適切な支援と教職員間の情報共有（保護者との連携）
- ⑤正統派の生徒を大切にする学級・学年経営
- ⑥報告・連絡・相談・確認の徹底
- ⑦みんなで、すぐに、粘り強く、小さな問題行動を見逃さない体制づくり
- ⑧生徒の心に寄り添いつつ毅然として行う、心に落ちる指導の完結

(4) 人権教育・道徳教育の推進

- ①教職員の人権問題に対する感覚を磨き、認識や理解の深化
- ②人権学習の計画的な実施とあらゆる教育活動の中で、生徒の人権意識の高揚
- ③**「考える道徳」「議論する道徳」の実践（授業づくり）**
- ④道徳教育は教育活動全体を通じて行うという共通認識
- ⑤日常のあらゆる場面で、生徒の心を耕す指導

(5) 特別支援教育の充実

- ①「心のバリアフリー」の推進
- ②**支援の必要な生徒への指導の充実（保護者との連携）**

- ③「個別の支援・指導計画」の作成と全教職員による情報の共有
- ④通級指導教室担当・スクールカウンセラー・養護教諭との連携
- ⑤ユニバーサルデザインを踏まえた、誰にとってもわかりやすい授業展開

(6) 生徒会活動・学校行事の充実

- ①**生徒会活動の充実・発展（生徒が達成感や成就感を感じる）**
- ②行事ごとの達成感
- ③生徒同士が互いに高め合える集団づくり

(7) 健康の増進と体力の向上

- ①命の大切さや心身の健康に対する自覚を高める指導の推進（保健指導・健康教育の充実）
- ②**「セルフコンディショニングプラン」による、生徒が運動機能を考え、体力向上を目指した指導の促進**
- ③食教育に計画的に取り組み、生徒の主体的な基本的生活習慣確立の推進

(8) 教職員としての責務と役割を自覚し、創意工夫に富んだ指導の展開

- ①情熱と深い愛情に基づき、一人一人の生徒（家庭）の実態に応じた粘り強い指導
- ②「信じる・認める・任せる」互いに尊重し合い、信頼し合い、相互批判ができる教職員集団
- ③**教職員間のコミュニケーションを何よりも大切にし、日常的な信頼関係を意識**
- ④からだも心も元気に過ごすための、「働き方改革」の推進

(9) 小中一貫教育と学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上

- ①**各小中学校の良さを共有し、義務教育9年間として教育活動の推進**
- ②学校運営協議会、PTA との連携による保護者・地域の期待にこたえられる学校づくり
- ③学校の諸行事や学校だより、学年・学級通信、HP、SC 通信、保健だより等を活用した情報発信
- ④学校公開、授業参観の充実と地域行事への協力と積極的な参加

令和8年度 桂川中学校グランドデザイン

学校教育目標

「主体的な発信力・行動力を身につけ、社会性のある生徒の育成」



〈知〉**確かな学力**

授業規律の徹底
授業改善と工夫



〈徳〉**豊かな心**

道徳・人権教育の推進
生徒会活動の充実



〈体〉**健やかな体**

セルフコンディショニングプラン
命の教育の充実

目指す生徒像

「自分の軸を持ち、愛し愛される生徒」

- (1) 自分の思いや考えを分かりやすく、他者へ伝えることができる。
- (2) 自身の意志や考えに基づき、行動することができる。
- (3) 自分や他者を大切にできる。

目指す教職員像

「生徒から分かりやすく、信頼される教職員」

- (1) 「子どもの心」に寄り添い、支えることができる。
- (2) 生徒に考え、気づかせ、かまひすぎず伴走者ができる。
- (3) 「専門職」として授業を大切にし、探究し学び続ける。

イメージ

教職員の協力関係を構築

- ・教職員のスキルアップ
- ・教職員のやりがい
- ・生徒の成長や変貌



積極的なコミュニケーション



信じる・認める・任せる



管理職のリーダーシップと
マネジメントスキルの向上
生徒と教職員に主体性と社会性
がある学校づくり
学校教育ビジョンや目標の共有

桂川中ブロック(9年間)

小中連携・学校運営協議会・PTA

- ★教職員…授業交流(互いに学び合い、高め合う)
強みや課題の共有・共に育てる喜び
- ★生徒…行事交流(学校・地域)
児童生徒会交流・授業体験・部活動体験
オープンスクール
- ★保護者…授業参観・地域行事交流・PTA活動交流
- ★地域…安心・安全の町づくり
地域の子は地域で育てる
学校応援団